

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

# Dogushi

Winter 2020

Vol.28

## 特集

- 飯田の中学生が  
人形浄瑠璃のふるさとへ
- 南あわじ市と  
伝統人形芝居で交流

胴串 -どぐし-

Chiyoko

Dogushi  
Vol.28  
2020年1月発行  
発行：「人形劇のまち飯田」運営協議会  
制作：NPO法人 いいだ人形劇センター TEL:050-3594-5004  
長野県飯田市本町1-2 TEL:050-3594-3594 FAX:050-5541-0004 E-mail:iida-puppet-c@mis.janis.or.jp

## 掲示板 いいだ人形劇センターからのお知らせ

### オトナのための人形劇講座 Vol.3

#### 精密機器とからくり人形

地域の伝統文化や地場産業と、人形芝居の結びつきを学ぶ大人向けの講座を開催します。「酒」「染・織」に続く第三弾は「精密機器」に焦点を当てました。精密機器の話から人形のからくり、竹田人形座竹の子会の上演と充実の内容で、オトナの知的好奇心をくすぐります。



Vol.1「酒」

Vol.2「染・織」

- 日 時／3月7日(土) 13:30開演
- 会 場／多摩川精機株式会社 本社  
第1事業所
- 料 金／1,000円
- 問合せ／TEL:050-3583-3594  
いいだ人形劇センター

Dogushi

## View of IIDA

初春恒例となった竹田扇之助記念国際糸操り人形館での人形劇公演。こしあは竹田人形座竹の子会が一年かけて制作した『血脉の印』を初披露。糸操り人形ならではの演出に観客は釘づけでした。

## 第8回 AVIAMA 人形劇でつながる世界の都市

### トゥルナイ市【ベルギー】

ベルギー南部、フランス語を主要言語とするワロン地域の人口7万人ほどのまち、トゥルナイ。12世紀の「ノートルダム大聖堂」のそびえるこの地は古代ローマ時代以来の拠点の1つであり、西ヨーロッパの歴史を凝縮したような場所です。19世紀にボリジネル(ブルチネッラに似た人形劇)の一座がやって来たことで人形劇が始まったといわれるこのまちは現在「ワロン・ブリュッセル人形劇センター」があり、様々な活動を行っています。特筆すべきは人形コレクション。博物館には世界中から集められた2,500体の人形が展示されており、その中には文楽人形まであります。ヨーロッパの古都を舞台に日本の文楽人形。一度見てみたいですね。



トゥルナイ市の中心部にある  
人形劇センター

## 並木 さんぽ

いいだ人形劇センターが市民向けの人形劇講座を始めて6年。最初の年こそ1団体の参加でしたが、その後、数は多くないものの毎年のように参加者が集まるようになりました。なかには遠方から数時間かけて飯田へ通ってくるグループも。そして、講座終了後もいろんな場所で上演を続けている劇団が複数あります。どこかで見かけたらぜひ観劇してください。

次号は4月発行予定です。(帆)

表紙イラスト:井原千代子

## 特集

# 飯田の中学生が人形浄瑠璃のふるさとへ 南あわじ市と伝統人形芝居で交流

伝統人形芝居「人形浄瑠璃」の継承に取り組んでいる

飯田市の竜峠中学校今田人形座と高陵中学校黒田人形部の生徒19人が、  
12月14日・15日の日程で人形浄瑠璃のふるさと「南あわじ市」を訪ねました。



えびす様と一緒に写真を撮ると宝くじが当たる? 過去に8人が当たり、最高額は1億円だそうです。不治の病が治った人もいるとか…



郷土部の皆さんによる「生写朝顔日記 大井川の段」



南あわじ市の守本憲弘市長があいさつに来てくれました

兵庫県南あわじ市は、淡路島の最南端にあり、500年の伝統がある淡路人形浄瑠璃を今に伝える人口約4万7千人の山と海に囲まれた自然豊かなまちです。飯田下伊那に伝わる人形浄瑠璃の伝来元であり、まちの中に人形浄瑠璃を題材にした看板やモニュメントがあちこちにあります。

この交流は、2018年に南あわじ市が

AVAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)に

加盟したことがきっかけとなり、飯田文化会

館と南あわじ市教育委員会で今年度初めて企画しました。

## 人形浄瑠璃がつなぐ心と心「伝統人形芝居を通じた南あわじ市との交流」

■ 飯田文化会館 人形劇のまちづくり係 田中 宏樹

兵庫県南あわじ市は、淡路島の最南端にあり、500年の伝統がある淡路人形浄瑠璃を今に伝える人口約4万7千人の山と海に囲まれた自然豊かなまちです。飯田下伊那に伝わる人形浄瑠璃の伝来元であり、まちの中に人形浄瑠璃を題材にした看板やモニュメントがあちこちにあります。

この交流は、2018年に南あわじ市が

AVAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)に

加盟したことがきっかけとなり、飯田文化会

館と南あわじ市教育委員会で今年度初めて企画しました。

### 1日目 淡路人形座見学・意見交換

淡路人形座は淡路人形浄瑠璃を継承するプロ団体です。劇場は人形浄瑠璃専門の舞台となつていて約2000席があります。生徒たち

はまず「えびす舞」「伊達娘恋縛鹿子火の見

櫓の段」を観劇し、人形を動かしているのでは

なく「人形が動いている」、そんな迫力ある上

演にとても刺激を受けました。上演後は特別

に舞台裏見学をさせていただき、その後は生

徒からの質問に答えるという形で意見交換し

ました。「若い頃は稽古が厳しく毎日やめよ

うと思つていなければ、芸のレベルが上がつてく

ることによってこの道しかないのかなと思え

るようになつた。10

年20年で結果が出

る世界ではないので

大変苦労した。今は

そうでもないけれ

ど」という言葉に、一

人前になることの大

変さを感じました。



それぞれのパートでしっかりと教えていただきました。帰ってからもしっかり稽古しましょう!

兵庫県南あわじ市は、淡路島の最南端にあり、500年の伝統がある淡路人形浄瑠璃を今に伝える人口約4万7千人の山と海に囲まれた自然豊かなまちです。飯田下伊那に伝わる人形浄瑠璃の伝来元であり、まちの中に人形浄瑠璃を題材にした看板やモニュメントがあちこちにあります。

この交流は、2018年に南あわじ市が

AVAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)に

加盟したことがきっかけとなり、飯田文化会

館と南あわじ市教育委員会で今年度初めて企画しました。

兵庫県南あわじ市は、淡路島の最南端にあり、500年の伝統がある淡路人形浄瑠璃を今に伝える人口約4万7千人の山と海に囲まれた自然豊かなまちです。飯田下伊那に伝わる人形浄瑠璃の伝来元であり、まちの中に人形浄瑠璃を題材にした看板やモニュメントがあちこちにあります。

この交流は、2018年に南あわじ市が

AVAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)に

加盟したことがきっかけとなり、飯田文化会

館と南あわじ市教育委員会で今年度初めて企画しました。



うずしおクルーズで感動の体験もしました



まちの中にたつ看板



棹をつけて太夫座に。ちょっとだけ  
プロになった気分?

## 飯田の方たちとの交流

・人形劇チーム青空共和国 山崎 素裕



飯田に最初に来たのは大学の人形劇サークル1年生の時。宿泊先の浜井場小学校の円筒校舎に着き、「明日上演だから早く寝ること」という部長の指示をよそに、廊下でやつていた交流会に参加したのが最初の夜。以来、飯田に来れば、様々な人形劇が観劇でき、様々な人形劇人と交流できる、ということが魅力で36年間通い続けています。

中央通り4丁目の栄小路に2年前まであった居酒屋一平。大将の故西浦

英夫さんに「お前ら毎年飲みくるけど、これからも飯田の地元の方たちとの交流を楽しみに、飯田に通い続けたいと思います。

次号は「人形劇団なみ」のはどうとおるさんです

### Library Cafe

### 飯田とつながる世界の人形劇図書資料から<sup>28</sup>

#### 「パンチ&ジュディ」のイギリス文化史

パンチ&ジュディは飯田のフェスタでも度々上演された、英國では誰もが知っている人形劇だ。350年前のパンチの始まりからパンチの意義まで、パンチを取り巻く状況を具体的に描いた文章がとても興味深い。これを25年!という時間をかけて地道に翻訳をしてきた訳者は、自他ともに認める「強度のパンチ愛の持ち主」であり、巻頭の「はじめに」では日本におけるパンチ劇の関わりを綿密な調査で23頁に凝縮して、イギリス文化史研究者としての成果も見せている。つまり、この1冊で日英のパンチの全てが分かる、人形劇爱好者に必携の一冊なのだ。

(人形劇の図書館館長・湯見英明)



## すべての道は 飯田へ通ず

第17回



### 海外レポート

#### ブラティスラヴァの舞台芸術アカデミー【スロバキア】

※ブラチスラバ、ブラチスラヴァなどの表記もある

いいだ人形劇センター 事務局長 木田 敬貴

学生は俳優、美術、演出・ドラマトカルク<sup>\*</sup>に分かれ、それぞれ定員が8～10人、2～3人、1～4人。受験者の能力に応じて合格者の数が変わります。3年で修了し、その後の試験に合格すればさらに2年間高度な教育を受けることができます。ちょうど彼らが取り組んでいたカフカの「変身」と村上春樹の小説を組み合わせた作品の稽古を見学しました。人形劇の要素が様々な場面で散りばめられました。

学生は俳優、美術、演出・ドラマトカルク<sup>\*</sup>に分かれ、それぞれ定員が8～10人、2～3人、1～4人。受験者の能力に応じて合格者の数が変わります。3年で修了し、その後の試験に合格すればさらに2年間高度な教育を受けることができます。ちょうど彼らが取り組んでいたカフカの「変身」と村上春樹の小説を組み合わせた作品の稽古を見学しました。人形劇の要素が様々な場面で散りばめられました。

木田：ブラハと同様にブラティスラヴァにも国立の舞台芸術アカデミーがあります。その人形劇学科長イダ・フレディコーウアさんに学内と卒業生の人形劇団を案内していただき思いました。



舞台芸術アカデミーの建物。演劇・音楽・ダンス・映画・映像などを学ぶことができる

エコ共和国から分離独立し、首都のブラティスラヴァはオーストリアとハンガリーの国境近くにあります。人口はおよそ42万人。2011年3月にブラティスラヴァ世界絵本原画展が飯田市の川喜八郎人形美術館と美術博物館の2会場で開催されたので(平塚千葉、足利、浦和でも開催)、聞き覚えのある方も多いかと思います。

次にその卒業生が活動するブラティスラヴァで唯一の大人向けの専門人形劇団「デジルゾヴォ人形劇場」を訪問。伝統を重んじたマリオネット作品が特長で、主にフュステイバルなどの上演が中心です。アトリエには所狭しと置かれた人形たちが力強く

かされました。また廊下には彼らのアートで溢れた各公演のポスターがびっしり飾ってありました。

2020年はチエコ・スロバキアと日本交流100周年の記念の年です。ぜひ、いいだ人形劇フェスタでもスロバキアの作品が見られないかなあと思っています。



学生が制作したポスターのひとつ



廊下に飾られた学生の公演ポスター  
古代で上演をなぜ現代で上演を見る



デジルゾヴォ人形劇場のアトリエ。左から主宰者のジェイザ、ウニマ副会長のカレン夫妻、筆者

※ドラマトカルクとは…

演劇の研究と現場を横断的に往復しながら、今日の舞台表現と社会を結びつける、演劇に特化したメディエーター(媒介者)、アートマネージャー。

WASEDA ONLINE 藤井慎太郎(早稲田大学文学学術院教授)「新しい演劇人ぐどドラマトカルク養成プログラム—未来のアートマネジメントに向けて—」から引用



## 中級コース

飯田で創作活動ができるグループ・個人を対象に、新作づくりをサポート

### 人形劇すずらん／3びきのこぶた 1月成果発表

2017年度の初級コースに参加後、2年続けて新作づくりに挑戦しました。今回もメンバーの勢いと元気のよさが伝わる作品に仕上がってきました。

### これからの定期公演

人形劇講座参加者が次々に成果発表  
市民劇団の上演もお楽しみに!

#### 1月25日(土) 10時30分開演

- ・飯田西中学校人形劇部  
The World／3度目の挑戦
- ・人形劇すずらん／3びきのこぶた
- ・慈光幼稚園  
人形劇クラブきらきら座／さるとかに

#### 2月23日(祝) 10時30分開演

- ・上久堅小10チャレンジ  
金のガチャウ
- ・ザ・スリーディズマーケットシアター／  
みつかぼっちーと雪のお地蔵様

#### 3月21日(土) 10時30分開演

- ・シアター奇望堂／起きろ!
- ・代田智之／なかよし
- ・田辺／「普通の生活」

いずれも会場は飯田人形劇場 料金200円



### 劇団ふたご座／ 伝統芸能 狂言より『ぶす』

12月講座終了

飯伊シニア大学で出会った仲間で結成し、2017年度から毎年講座に参加。12月の人形劇定期公演で成果発表後は1作目の作品に磨きをかけるため、再び講座に参加予定。



### くまっこや一座／ 3匹のやぎのがらがらどん

今秋初演予定

2018年度初級コースに参加後、昨年10月から中級コースへ。初級で学んだことを生かし、人形づくりや演出などいろいろなアイデアを持ち寄り制作しています。

## 人形制作・稽古に熱が入る人形劇講座

いいだ人形劇センターが開催している人形劇講座。2019年度は初級コース4グループ、中級コース3グループが参加し、作品づくりに励んでいます。講座開始から半年がたつグループは集大成となる成果発表に向けた稽古、人形制作に励むグループの様子をおさえるべく“ゲン・バ”へ直行しました!

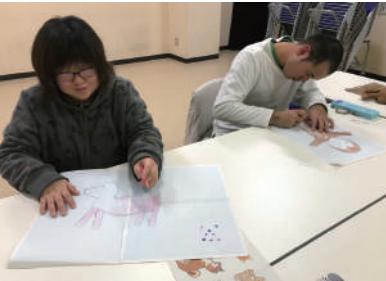
## 初級コース

初心者対象。作品選びから人形づくり、上演までを楽しく体験します

### ころぼっくる／ももたろう

今夏初演予定

飯田養護学校高等部を卒業した仲間で結成。2018年度に制作した「一休さん」に続く2作目を昨年11月から制作開始。新メンバーが加わり、より活気のある講座になっています。



### 代田智之／なかよし

3月成果発表

飯田市の図書館司書が、図書館で行うお楽しみ会で人形劇を上演したいと一念発起。人形劇の定番「なかよし」をライオンのライタくん、ネコのニャンタくんで演じます。



## 突撃! 人形劇の ゲン・バ

スペシャル!



### シアター奇望堂 今井 啓／起きろ! 3月成果発表

オリジナル脚本で一人芝居に挑戦。ある朝一つの部屋で起こる出来事を、主人公の身の回りの物を使っておもしろおかしく、時に切なく演じられるか…乞うご期待。

### 水上穂乃花・友香／なかよし 11月講座終了



## ユニークな 「国際マイクロ・フェスティバル」

オランダのドルドレヒト市にあるダミニエッ

ト人形劇場は、ダミニエット・ヴァン・ダルサム氏

が1967年に設立したキャラ40人の可愛

い劇場です。階が劇場・サロン・事務所二階

は応接サロ、三階がプライベートルームとな

っており、美しい運河沿いにあります。

私が最初に訪問した時はちょうど、市内

の子どものお誕生会を兼ねた観劇会。ダミ



エット氏のお芝居を見終わつたあと、お菓子をいただいて帰る楽しそうな場面であります。この劇場は、毎年秋に開催している「国際マイクロ・フェスティバル」のメイン会場でもあります。

## 日本ユニマ通信 世界みて ある記 ⑩

国際委員会 小柳 田美子



「国際マイクロ・フェスティバル」のパンフレット

[www.poppentheaterdamiet.nl](http://www.poppentheaterdamiet.nl)

このフェスティバルはユニークなスタイル。まず参加者は15人くらいの2グループに分かれ、先導に従い街を散策に出かけます。街の花々や、居並ぶウィンドウの品々を楽しみながらゾロゾロ歩き、まず一軒目。上演場所が民家の庭先やリビング、玄関フロアの時もあります。20～30分位の小品を楽しんだら、御礼を述べて、散策しながら二軒目、三軒目となります。この要領で三日間で12作品くらい観劇しているうちに地理もだんだんわかってくるという仕掛け。

ダミニエット氏は美術家、演出家、俳優、プロデューサーでもあります。フェスティバルは観劇だけではなく、毎年テーマに沿った展示会も開催されますが、メイン会場のサロンの展示はクオリティが高く、ダミニエット氏のセанс全開です。アメリカと友人たち、隣り近所、街の人々、みんながこの小さな人形劇場とフェスティバルを支えています。

みなさま、ドルドレヒトにいらつしゃるなら、秋です。